



理科年表読本 気象データひまわりを楽しむ本 EXCELによる気象データCD-ROMの読み方・使い方

川崎宣昭, 登内道彦, 井出迫義和 著

丸善株式会社, 全 125 ページ, 1,500 円 (税別)

入門書

お薦め度

☆☆☆☆★

昔, とは言ってもたった10年ほど前, 様々な自然現象のデータを集めて図化したり, それぞれの関係を示したり解析したりしようとしたら, それはそれは大変手間暇のかかる仕事だったろう. 関係各位にお手紙を送って, データを送って貰ったり, 貰いにいったり. データを手に入れてからも解析するまで持っていくのが一苦勞, グラフを描くのだって, いちいち自分でプログラムを組んで作図していた. ところが, 今では色々なデータがCD-ROMで供給されていて, 手軽に利用することができる. 膨大な理科年表のデータは「理科年表CD-ROM」に, 1996年の多岐に渡る気象関係のデータ, 図版は「気象データひまわりCD-ROM98」に集録されている. いい時代になったものである.

本書は, 上記のCD-ROMと表計算ソフトExcelを利用して, 様々な解析を行い, 解説をしたものである. 指示に従って, データを加工し作業を進めていくことによって, 表計算ソフトの操作法や統計的手法, 気象の基礎を平易に学ぶことができるように工夫されている. 扱うデータは実データなので, まさに生きた教材である. さらに, 気象という生活に密着したデータである. 解析をして面白くないはずがない.

教育現場にいる人には, 学生や生徒に読ませれば科学的手法を使って自由研究を進めるための良い教材となるだろう. データは図化することで, 説得力が大いに増すことを具体的に示すことができるし, 統計的手法を用いてデータでものを言うノウハウを習得することができる(ただし, 統計的手法の説明はやや不十分. 別途適切な入門書を

紹介する必要があるだろう). また, 学生でなくとも, 気象に興味のある方にはコンピュータとCD-ROMデータを用いた知的遊びに, 良いナビゲータとなる. 一般にはなじみの薄い, 例えばショワルター安定指数や湿数といったような気象用語や, 各種高層天気図の見方の解説も適宜されており, それらの意味するところを体験的に理解することができる良い教材となろう. それは気象予報士試験にチャレンジしようと思われているむきには, 格好の練習台であろう. さらに, 専門的な予報のコツもいくつか紹介されているので, インターネットで最新の各種天気図類を得て自分なりの予報をするのに役立つだろう.

本書で少々残念な部分をいくつか挙げる. コンピュータの出力をそのまま図に使用しているせいか, 見づらいところがあり, 例えばワークシートセルの行や列が判読しにくいところがある. 全般には表計算ソフトの入門書としても使えるように配慮されているが, 表計算ソフトに慣れない読者には, 作業展開の説明がわかりにくいところが多く見受けられる. また, このような処理をするのにはこうでなくてはならない, といった答えはないのだろうが, より簡便に処理を進められるようにExcelの便利な機能, 例えば集計処理にピボットテーブルレポートや, 文字列で書かれた風向を数値化するのにVLOOKUP関数によるテーブルサーチなどを紹介しても良かったのではないかな.

ともあれ, 様々なレベルの読者に気象の実データを使った具体的な解析の手法を示し, その意味するところを適切に解説した, 良書といえるだろう.

松本直記 (慶應義塾高等学校)